



# 輝き

Kagayaki

協働!感動!躍動!

きょうどう かんどう やくどう

いきいきと輝くまち・三鷹

## Vol.13

2015年9月10日発行

【発行者】 清原けい子後援会事務所 〒181-0001 東京都三鷹市井の頭1-14-23 Tel&Fax.0422-71-0150

## 「コミュニティ創生」の大切さ

三鷹市長 清原慶子

私は、平成27年4月30日から三鷹市長として4期目の任期に入りました。後援会の皆様をはじめ、市民の皆様の市政へのご参画とご協力によりまして、私はおかげ様で元気に市長の職務に専念しています。

さて、私たちが生きる現代社会は急速に少子高齢化が進展するとともに、東日本大震災を経験して、改めて地域の相互支援関係(絆)の大切さ、向こう三軒両隣と表現される身近な地域の「共助」の必要性が再認識されています。それぞれの地域では、「自助」、「共助」、「公助」のバランスが求められ、「近所」=「近助」の意義が再確認されています。改めて三鷹市が『自治基本条例』に基づいて推進している「参加と協働」によるまちづくり、コミュニティづくりの大切さを思います。



地域ケアネットワーク・井の頭設立10周年記念式典・講演会での清原市長

三鷹市では1970年代から、古くから代々住み続けている市民と、新しく転入した市民とが「地域性」と「共同性」を育むために、7つのコミュニティ

住区ごとにコミュニティ・センターを建設し、それを拠点として、公募の地域住民による「住民協議会」の活動を推進するなどの「コミュニティ再生」を推進してきました。

さて、現行の『三鷹市第4次基本計画』の最重点プロジェクトの一つは「コミュニティ創生」です。これは、地域を古き昔に戻すという「再生」ではなく、現在の急速な少子高齢化等の社会状況に適合的なコミュニティを、多世代で多様な市民の皆様や団体との協働で新たに「創生」していこうとするものです。

「コミュニティ創生」の具体的取り組みの一つである「地域ケアネットワーク」は、平成16年11月に井の頭住区で最初に設立されて以降、新川・中原、にしみたか、東部、連雀、駅周辺の順に設立され、平成27年2月に大沢住区で最後に設立されて、7つのコミュニティ住区すべてで活動が展開されています。地域ケアネットワークは、地域の住民



地域ケアネットワーク・大沢設立記念講演会で講演する清原市長

がお互いに見守り支え合う「共助の仕組みづくり」です。住民協議会や町会・自治会をはじめとして、民生・児童委員、医師会・歯科医師会・薬剤師会や地域包括支援センター等関係機関や団体などがネットワークを形成し、地域福祉の向上に向けて協働の取り組みが進められています。7つの地域ケアネットワーク相互には代表者会議や情報交換会が開催され、情報や事例を共有しています。

市が人材育成に取り組む「傾聴ボランティア」「認知症サポーター」「地域福祉ファシリテーター」などの多彩な担い手が、新しい共助であるこの事業展開のために、参加されていることを心強く思います。今後とも、高齢者、障がい者や子育て世帯など地域で生活するすべての人々を対象としたネットワークの展開が期待されます。

「コミュニティ創生」のために、多様な市民による「多世代交流」が有意義であることから、たとえばコミュニティ・スクールや市内の大学等との連携を視野に、三鷹市らしいあたたかい活動展開が期待されています。